

I-6 区立図書館

I - 6 区立図書館

1. 図書館のあらまし

(1) 現況・経緯

台東区の図書館は、昭和37年1月、現在の三筋2丁目に台東図書館が開館（平成13年8月閉館）し、現在は、中央図書館、根岸図書館、石浜図書館、浅草橋分室、谷中分室、くらまえオレンジ図書館、すこやかとしょしつを開設している。また、いきいきプラザ1階の総合案内、「はばたき21」の情報コーナーといった図書館関連施設においても、区立図書館と同様に貸出・返却を行っている。

図書館では、資料の収集、貸出等の業務のほか、おはなし会や人形劇の開催、視聴覚ライブラリー等の事業を実施している。また、インターネットや利用者検索用パソコン（OPAC）を設置して、資料検索・予約サービスも行っている。

中央図書館には、池波正太郎記念文庫、郷土・資料調査室を設置している。

昭和61年3月、図書館資料の活用を促進するため、図書館のシステム化を進め、台東、根岸、石浜の3館及び谷中コミュニティセンター図書室に図書館システムを導入した。その後も、新しい施設の開設に合わせ順次図書館システムを導入している。

平成12年5月、図書館ホームページを開設して、蔵書検索をはじめ、利用や行事等の案内を開始した。

平成13年4月、浅草橋分室のカウンター業務の民間委託を開始し、翌年4月には根岸・石浜の両図書館のカウンター業務の民間委託を開始した。

平成13年8月、中央図書館の開館に合わせて台東図書館を閉館した。

平成13年9月26日、台東区生涯学習センター1・2階に、新たに中央図書館（池波正太郎記念文庫併設）を開館した。開館後、多くの区民の方にご利用いただき、平成14年7月には「入館者100万人突破セレモニー」を開催した。

平成13年から、年末開館（12月29・30日）、平成15年から、年始開館（1月3日）を実施した。

平成13年9月、インターネットでの蔵書検索や予約サービスを開始した。

平成14年9月、携帯電話での蔵書検索や予約サービスを開始した。

平成17年3月、国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行に伴い、「台東区子ども読書活動推進計画」を策定した。この計画に基づき、平成17年度から、まちかど図書館（くらまえオレンジ図書館・すこやかとしょしつ・東浅草なかよし図書館）の開館、ノーテレビデーの呼びかけなど、新規事業22項目を含む45項目にわたる事業に取り組んだ。平成18年4月には、これまでの子ども読書活動推進に関する実績を評価され、中央図書館が文部科学大臣表彰を受賞した。

平成17年10月、多くの方に利用していただけるよう、図書資料の貸出上限を20冊から15冊に変更し、12月には、発行後の住所の変更等に対応するため、図書館利用カードに2年間の有効期間を設定した。

平成18年7月、中央図書館の第2・第4月曜日と分館・分室の年末28日を新たに開館日としたほか、根岸図書館と浅草橋分室の月曜開館日を変更して、月曜日には台東区の図書館のいずれかが開館している体制を整えた。同時に、開館日の拡充への対応と民間企業の導入による図書館の活性化を図るため、中央図書館においても業務の一部委

託を開始した。

平成18年10月、池波文学の振興・普及を目的として「池波正太郎記念文庫」と上田市「池波正太郎真田太平記館」が、姉妹館の提携を行った。同時に、池波正太郎記念文庫開館5周年を記念して、「池波正太郎記念文庫図録」を発刊した。

平成19年11月、区立待乳山聖天公園内に池波正太郎氏の業績を称えることを目的に「池波正太郎生誕地碑」を建立した。

平成20年4月、中央図書館ではこれまで休館だった第1・第3・第5月曜日を開館とし、利用者の更なる利便性の向上を図った。

平成22年7月、「台東区子ども読書活動推進計画（第二期）」を策定した。

平成23年1月、図書館システムを入れ替え、11月にはICタグシステムを導入した。中央図書館では、自動貸出機・自動返却機・予約コーナーを整備して、貸出・返却手続きのセルフ化及びカウンター混雑の解消など利用環境の改善を図った。

平成24年2月、くらまえオレンジ図書館が、蔵前小学校から環境ふれあい館ひまわりへ移転し、開館日・開館時間の拡大により利便性が向上した。

平成24年11月、郷土・資料調査室内に浅草文庫コーナーを開設した。浅草観光連盟から寄贈された浅草の芸能・伝統文化、歴史に関する貴重な資料を閲覧可能とし、区の郷土資料を充実させた。

平成25年2月、社会貢献活動の一環として、台東区内の企業・店舗等が、台東区立図書館に雑誌を提供する「台東区立図書館雑誌スポンサー制度」を開始した。

平成27年4月、谷中防災コミュニティセンター3階に、中央図書館谷中分室（谷中さんぽ基地併設）を開館した。

平成27年7月、「台東区子ども読書活動推進計画（第三期）」を策定した。

平成28年8月、昨今の図書館を取り巻く状況の変化に沿った図書館運営を行うため、「台東区立図書館の基本的な考え方」を策定し、目指す図書館像と基本方針を示した。

平成29年10月、来館者や一般区民を対象に「台東区立図書館に関する調査」を実施し、平成30年3月、報告書を作成した。

平成30年8月、区民や地域等の声を反映した図書館運営を推進するため、「台東区立図書館に関する意見交換会」を設置した。

平成31年3月、「台東区立図書館の基本的な考え方」で定めた目指す図書館像と基本方針をさらに推進するため、具体的な取組などを加えた「台東区立図書館取組方針」を策定した。

令和2年3月、「台東区子供読書活動推進計画（第四期）」を策定した。

令和3年3月、東浅草小学校の大規模改修工事に伴い令和元年5月から休館していた東浅草なかよし図書館は、休館前の利用実績が少なかったことを踏まえ、当該部屋を東浅草こどもクラブ室として活用することとし、閉館した。

令和4年1月、図書館システムを入れ替え、WEBリクエスト等サービス充実の他、オーディオブックサービスの提供及び読書ノートの配布を開始した。

令和5年1月から12月まで、池波正太郎生誕100年記念事業として、講演会・講座の実施や生誕100年記念グッズ・顔出しパネル・観光課にて作成した高札型案内板等ゆかりの地を示した「池波正太郎まちあるきマップ」の作成等を行った。



中央図書館

(2) 事業案内

図書館では基礎的なサービスである資料収集・保存・提供をはじめ、様々なサービスを提供している。

ア. 個人貸出

貸出を希望する方には、図書館利用カードを発行している（台東区在住・在勤・在学の方又は東京23区内在住の方）。

カードの発行には、本人の住所・氏名・生年月日・在学又は在勤先（東京23区外在住の方）を確認できるもの（運転免許証、保険証、学生証など）が必要である。利用カードは各館共通で、図書・雑誌は1人合計15冊まで、貸出期間は2週間である。

イ. 団体貸出

区内小中学校・幼稚園・保育園・児童館等の施設をはじめ、台東区に所在地があり構成員が10人以上の団体を対象に貸出を行っている。利用には、団体の登録が必要で、貸出冊数は100冊まで、貸出期間は30日となっている。

ウ. 児童サービス

「台東区子供読書活動推進計画」に基づき、様々な活動を展開している。

中央図書館では、毎月23日のノーテレビデーと毎週日曜日の「おはなし会」、学校等への訪問おはなし会・ブックトーク、小学生を対象とした図書館見学、中学生を対象とした職場体験などを行っている。さらに、図書ボランティア支援のための「読み聞かせ講習会」、子供・保護者・子供の読書に関わる大人を対象とした「子供の読書活動啓発講演会」を実施している。

また、その他各館でも、「あかちゃんえほんタイム」「おはなし会」「人形劇」「映画会」等の行事を開催するなど、読書活動の推進を図っている。

エ. 視聴覚サービス

CD・DVD・ビデオの貸出を実施しており、CDは1人3点まで、貸出期間は2週間、DVD・ビデオは1人合計2点まで、貸出期間は1週間となっている。また、中央図書館では、16ミリフィルムや映写機などの貸出も実施している。

オ. 障害者等サービス

活字による読書が困難な方や来館することが困難な方へ、資料と情報の提供を目的としたサービスを実施している。

中央図書館では、声の図書（カセットテープ、デージー図書）、マルチメディアデージー図書、プレクストーク（デージー図書を聴く機械）、点字図書、点字器セットの貸出や声の図書の郵送貸出を行っているほか、ボランティアの方が希望の資料を個別に朗読する対面朗読サービスや、図書館所蔵の本やCDを、ご自宅へ配送する宅配サービスを行っている。

また、中央図書館では、障害全般の図書を取り扱ったバリアフリー資料コーナーを設けている。なお、中央図書館をはじめ各館では、大活字本の貸出を行っている。

カ. 予約サービス

貸出中など、利用者の希望する資料が書架にない場合には、図書館のカウンター、館内の利用者端末（OPAC）、インターネット、スマートフォン等から予約することができる。また、区立図書館で所蔵していない図書は、新規購入のほか、都立図書館、他区市の図書館からの相互貸借により利用者に提供している。なお、予約可能点数は、図書・雑誌10冊、CD3点、DVD・ビデオ2点までとなっている。

キ. レファレンスサービス

学習・研究・調査など、資料・情報が必要な図書館の利用者に対し、文献などの紹介・提供や資料の検索方法を案内するサービスを行っている。

ク. ビジネス支援サービス

ビジネス関連の様々なデータベースや資料を取り揃え、提供している。

ケ. コピーサービス

図書館の資料に限り、著作権法を遵守することを条件に、有料で複写サービスを行っている。

コ. 池波正太郎記念文庫の運営

上野・浅草を故郷とし、江戸の下町を舞台にした「鬼平犯科帳」等、時代小説を多数発表した、池波正太郎氏の業績や作品世界を広く伝えるため、池波正太郎記念文庫を開館・運営している。

サ. 返却用ブックポストの設置

各図書館をはじめ、区役所、区民事務所などに返却用ブックポストを設置し、利用者の利便性の向上を図っている。

各図書館の開館時間と休館日

図書館名	開館時間	休館日
中央図書館	一般 月曜日～土曜日 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時 (祝日と土曜日が重なった場合は 午前9時～午後8時)	1. 年未年始 2. 館内整理日(第3木曜日、祝日の場合は翌日) 3. 特別整理期間
	こどもとしょじつ 月曜日～土曜日 午前9時～午後6時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	
中央図書館 浅草橋分室	火曜日～土曜日 第2日曜日の翌日・第5月曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時	1. 月曜日 〔浅草橋分室〕 第2日曜日の翌日、第5月曜日は除く 〔谷中分室〕 第2日曜日の翌日、第5月曜日は除く ※10月は変更の場合あり 〔根岸図書館〕 第1月曜日は除く 〔石浜図書館〕 第3月曜日は除く 2. 月曜開館の前日 3. 国民の祝日 4. 年未年始 5. 館内整理日(第3木曜日、祝日の場合は翌日) 6. 特別整理期間
中央図書館 谷中分室	火曜日～土曜日 第2日曜日の翌日・第5月曜日 午前9時30分～午後9時 日曜日 午前9時30分～午後5時	
根岸図書館	火曜日～土曜日 第1月曜日 午前9時30分～午後8時 日曜日 午前9時30分～午後5時	
石浜図書館	火曜日～土曜日 第3月曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時	
くらまえ オレンジ 図書館	火曜日～日曜日 祝日 午前10時～午後6時	
すこやか としょじつ	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	

(3) 図書館情報システム

ア. 導入

図書館では、蔵書数や出版点数の増加、利用者サービスの多様化に対応するため、昭和61年3月より、各図書館を結ぶオンラインシステムを導入した。現在では、くらまえオレンジ図書館、すこやかとしょじつのほか図書館連携施設(いきいきプラザ、「はばたき21」情報コーナー)ともオンラインで結んでいる。

イ. 特徴

図書館情報システムは、資料管理、発注、受入、予約、貸出、返却をクラウドサーバを介して一元管理しており、各図書館と連携施設を1つの総合図書館として機能させている。利用者は区内の全ての図書館及び連携施設でも貸出、返却、予約等ができるようになっており、各館に設置された利用者端末（OPAC）のほか、台東区立図書館ホームページからも利用者が好きなきに図書館の蔵書を検索することが可能である。

平成23年11月には、ICタグを活用したシステムを導入し、利用者サービス向上と資料管理の効率化を図り、中央図書館では予約コーナーをはじめ、自動貸出機、自動返却機を設置し、利用者自身が貸出・返却を行えるセルフサービスを実施している。

ウ. 処理業務

図書館情報システム処理業務にあたる全ての従事者が、利用申込書やリクエストカードなどの利用者の個人情報に関わる書類を第三者から見えのままにしないこと、利用者の個人情報や貸出情報を第三者には伝えないこと等、個人情報保護について適正な情報管理に努めている。

【図書館情報システム業務一覧】

オンライン業務	<ul style="list-style-type: none">・貸出（一般貸出、団体貸出）、貸出延長・返却・予約、予約解除・資料検索（図書、雑誌、AV）・資料管理（発注、受入、ICタグ管理）・利用者管理（利用者登録、更新）・webリクエスト、webレファレンス
ICタグシステム	<ul style="list-style-type: none">・IC自動貸出機（中央図書館）・IC自動返却機（同上）・IC予約コーナー（同上）・IC無断持出防止ゲート（まちかど図書館除く）・IC蔵書点検
管理業務	<ul style="list-style-type: none">・MARC（機械可読目録）登録・統計情報作成（貸出統計、蔵書統計、利用者統計等）・蔵書管理（蔵書点検、一括除籍）・在荷予約資料出力、予約連絡メール送信・督促状出力（中央図書館）、督促メール送信・運用管理（休館日設定、システムコード変更）（中央図書館）
利用者端末（OPAC）	<ul style="list-style-type: none">・詳細検索、分類検索・貸出ベスト、予約ベスト・利用状況確認、資料の予約・貸出延長・連絡先・連絡方法変更

エ. 図書館ホームページの提供

区立図書館の蔵書検索・予約が可能であり、図書館からのお知らせや利用案内、イベント・行事の案内、新着資料や雑誌一覧の案内等を提供している。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.taito.lg.jp/library/index.html>

2. 各図書館の概要

(1) 中央図書館

昭和37年1月開館の台東図書館は、平成13年8月15日で閉館となり、同年9月26日に、新たに台東区生涯学習センターの1・2階、地下1階に中央図書館として開館した。

図書資料は、約395,000冊所蔵しており、そのうち約61,000冊が児童書である。視聴覚資料は、約2万点所蔵している。

ア. 一般開架コーナー

一般図書、実用書、小説、外国語図書、文庫・新書、壁面書架（全集等）などの書架群のほか、池波正太郎著作本（貸出用）、特集、新聞・雑誌、電話帳のコーナーを配置している。新聞・雑誌コーナーには、約260誌の雑誌と32紙の新聞を配架しており、南窓側には閲覧席を26席設置している。

また、特集コーナーでは、話題の作家や作品、時事、区の取組関連等の特集企画を実施している。



自動貸出機・自動返却機

イ. こどもとしよしつ

合羽橋道具街通りと生涯学習センターの広場に面した明るい雰囲気図書室であり、絵本、紙芝居や児童書を所蔵している。中には靴を脱いで座れる「おはなしのへや」があり、おはなし会などの行事も行っている。



「城のモニュメント」からこどもとしょしつを見る

ウ. 障害者サービス室

この部屋には、録音室、対面朗読室があり、視覚に障害を持つ方、または通常の読書が困難な方に対面朗読のサービスを行っている。現在、約1,400タイトルの声の図書があり、音訳ボランティアの方にデイジー図書作成の協力をお願いしている。

エ. 池波正太郎記念文庫

池波正太郎記念文庫は、池波家から寄贈されたものを含む約5万点に及ぶ資料を収蔵しており、その一部を常時展示、公開する施設として、平成13年に開館した。池波正太郎氏は、現在でも多くの読者に愛され、読み続けられている作家であり、記念文庫には全国から熱心なファンが訪れている。

記念文庫には、復元した書齋や遺愛品の展示のほか、企画展示、自筆絵画、食・映画・芝居・旅と人生、3大シリーズ（「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛人・藤枝梅安」）の舞台となった「江戸切絵図」等、特色ある展示コーナーを設けている。また、時代小説の愛好者・研究者のために「時代小説コーナー」を設け、約1万冊の資料を所蔵。戦前の貴重本から現代までの人気作品や時代小説の初版本・研究書等の収集・展示も行っている。これらの資料は記念文庫内で一部を除き閲覧可能である。

なお、平成18年10月に、上田市池波正太郎真田太平記館と姉妹館提携を行った。



池波正太郎記念文庫

オ. 視聴覚コーナー

このコーナーでは、CD、DVD、ビデオの貸出を行っており、16ミリフィルムや映写機の貸出（団体用）も行っている。



視聴覚コーナー

カ. グリーンコーナー

図書館2階にある中学生・高校生向けの図書を揃えたコーナーで、窓際に中高生優先席を設けている。

キ. 郷土・資料調査室

台東区の郷土資料、行政資料、参考図書（各種辞典等）など、台東区の歴史や文化財等に関する資料を収集・保管している。

室内には、「台東区ゆかりの文学コーナー」を設置しており、台東区生まれの文学者や執筆活動の一時期台東区に在住した作家、台東区を作品の舞台とした作家等の作品・作家論を収集している。

平成24年11月には、浅草に関係した資料を集めた浅草文庫コーナーを開設した。松竹歌劇団、浅草歌舞伎のパフレット、浅草を舞台としたドラマの台本や浅草寺の節分会の芳名帳等、芸能関係の資料が多いのが特色である。このコーナーは、平成23年12月1日に浅草観光連盟から寄贈された浅草文庫の図書資料で、閲覧のみとなっている。

パソコンコーナーでは、インターネット用のパソコンを設置し、朝日新聞記事等の有料データベースが閲覧可能となっている。また同コーナーには、無線LANを配備し、パソコンや電卓を使用できる「電子機器持込閲覧席」を2席設けている。

なお、「電子機器持込閲覧席」は、視聴覚コーナーと同じフロアの窓際にも、10席設けている。



台東区ゆかりの文学コーナー



浅草文庫コーナー

(2) 根岸図書館

根岸図書館は昭和47年12月、2番目の図書館として開館した。地下鉄日比谷線「三ノ輪」駅近く、交通の便にめぐまれた都営根岸5丁目アパート2階にある。

図書館資料は、利用者の傾向や要望に合わせて、文庫・小説や実用書を中心に収集している。蔵書数は約59,200冊、うち児童書は約15,000冊である。このほか、CD約4,200点を所蔵している。



一般書架



こどもしつ

(3) 石浜図書館

石浜図書館は昭和49年2月に区内3番目の図書館として開館した。区の北東部、白鬚橋近くの橋場通り沿いに位置している。

現在の石浜図書館は、平成12年9月に改築され、1・2階に石浜橋場こども園を配置した複合施設となっている。

3階には、書架・サービスカウンター・児童コーナー・CDコーナーを設置している。児童コーナーには親子で絵本に出会える「えほんのへや」があり、CDコーナーには邦楽やクラシック等、約8,800点の資料がある。

4階には、中学生用と高・大学生等用の学習室を設置している。特に、高・大学生等用にはキャレルデスク（個別ブース）を設置し、落ち着いた雰囲気とプライバシーに配慮した空間となっている。

蔵書数は、約74,200冊、うち児童書は約13,200冊である。小説や雑誌、各分野の基本書、実用書等の充実に重点をおいた資料収集を進めている。



サービスカウンター



児童コーナー

(4) 中央図書館浅草橋分室

平成3年11月に、台東図書館の分室として、浅草橋区民館の2階・3階に開設した。2階は、一般図書と雑誌のフロアになっており、一般図書は、主に実用書や文庫・小説を中心に収集している。3階には、児童コーナー、グリーンコーナー、CDコーナー、学習室があり、児童のコーナーでは絵本・紙芝居から読みものなどを揃え、本の世界に親しめるようにしている。蔵書数は約37,600冊、うち児童書は約11,200冊である。このほか、CD約4,700点を所蔵している。



浅草橋分室

(5) 中央図書館谷中分室

平成27年4月に、中央図書館の分室として、谷中防災コミュニティセンターの3階に開館した。ワンフロアに一般図書、新聞雑誌、児童、グリーンの各コーナーと多目的室があり、谷中の街歩きに役立つ情報を集めた「谷中さんぽ基地」も併設している。特に子供の読書スペースは明るくゆったりとした空間で読書を楽しめる作りになっている。そのため、子供や中高生向けの図書を数多く揃えており、一般図書では防災関係の資料が充実している。蔵書数は約53,600冊、うち児童書は約16,500冊である。このほか、CD約1,000点を所蔵している。



谷中分室

(6) くらまえオレンジ図書館

図書館では、区民の誰もが、気軽に図書館を利用できるよう、公共施設等を活用した「まちかど図書館」の運営を行っている。くらまえオレンジ図書館は、第1館目として、平成17年7月に蔵前小学校に開館、平成24年2月には環境ふれあい館ひまわりに移転した。地域に身近な図書館として整備し、区民の読書活動推進を図っている。

なお、館の特性に合わせて、環境に関する資料が充実している。



くらまえオレンジ図書館

(7) すこやかとしょじつ

「まちかど図書館」の第2館目として、平成18年7月に、台東保健所の3階に開館した。蔵書は子供向け、育児関連が中心となっており、絵本や紙芝居などを通じて、親子のふれあいやコミュニケーションを促進する機会を提供することにより、乳幼児期の子供たちの読書活動を推進している。絵本の紹介や台東保健所の会議室でのあかちゃんえほんタイムなどの行事を実施している。



すこやかとしょじつ